

養老線交通圏地域公共交通網形成計画（素案）【概要版】

1 計画の趣旨

本格的な人口減少や、少子高齢化の進展が予測される中、養老線沿線の大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町及び池田町（以下「沿線3市4町」という。）では、養老線等の地域資源を生かした、個性豊かで活力に満ちたまちづくりに取り組むこととしています。

特に、地域公共交通については、養老線を中心として沿線バス交通やタクシー等の二次交通を含めた公共交通ネットワークの形成、維持が重要となっています。

こうした中、沿線3市4町では、社会経済情勢の変化に対応し、地域住民の自立した日常生活及び社会生活の確保、観光その他の地域間交流等を促進するため、養老線を中心とした持続可能な地域公共交通ネットワークを形成し、当地域の活性化及び再生に取り組めます。

2 計画の区域

計画の区域は、養老線を主軸に路線バス、コミュニティバス、タクシー等、養老線の二次交通が運行される沿線3市4町の範囲とします。

3 計画の期間

計画の期間は、養老線や沿線バス交通等の地域公共交通の活性化及び再生を実現するために必要な期間として、養老線を新たな事業形態へ変更する平成29年度から概ね10年後となる平成38年度までとします。

4 計画の基本的な方針、目標等

(1) 養老線交通圏における公共交通の将来像

地域の「豊かな生活」と「活発な交流」を支える
養老線と沿線バス交通やタクシーが一体となった
公共交通ネットワークの形成

(2) 全体目標指標、基本方針別の個別目標指標

基本方針 1 養老線駅等を中心とした集約連携型のまちづくりと一体となった公共交通ネットワークを形成します。

個別目標 1 養老線駅及び周辺地域の魅力を向上させます。

個別目標指標 1-1 将来都市構造等で拠点に位置づけられる主要10駅の養老線日平均利用者数

個別目標指標 1-2 養老線利用者の他の公共交通機関との乗り継ぎ利用率

基本方針 2 養老線を地域の生活軸とする公共交通サービスを充実します。

個別目標 2 日常的な生活行動における養老線及び乗継の利便性を向上させます。

個別目標指標 2 通勤・通学時間帯における養老線日平均乗車人数

基本方針 3 養老線を観光・交流軸とする公共交通ネットワークを形成します。

個別目標 3 観光・交流における公共交通の利用しやすさ及びわかりやすさを向上させます。

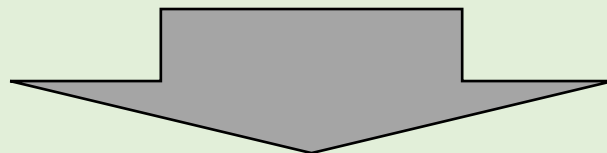
個別目標指標 3-1 養老線の定期外年間利用者数

個別目標指標 3-2 養老線の時刻表や乗り継ぎの情報案内に関する満足度

基本方針 4 多様な移動ニーズに対応した取り組みを関係者の協働により進めます。

個別目標 4 公共交通への関心を高めます。

個別目標指標 4 公共交通の維持・活性化に関する地域主体の取り組み回数



全体目標 地域の「豊かな生活」と「活発な交流」を支える養老線と沿線バス（将来像）交通やタクシーが一体となった公共交通ネットワークの形成

全体目標指標 1 養老線及び沿線バス交通等公共交通全体の年間利用者数

全体目標指標 2 養老線及び沿線バス交通の満足度

(3) 目標指標及び目標値

指標	現況値	目標値
全体目標指標1 養老線及び沿線バス交通等公共交通全体の年間利用者数	平成28年度（見込） 全 体：744万人 養 老 線：620万人 バス交通：124万人	平成38年度 全 体：631万人 養 老 線：526万人（推計値506万人から20万人増加） バス交通：105万人（推計値101万人から 4万人増加）
	*養老鉄道及び沿線3市4町データより *養老線の推計値506万人は、将来人口減少率及び、H22～27年度の利用者減少率と沿線人口減少率の実績値の差を考慮して算出（計画未実施の場合の数値） *養老線の増加分20万人は、計画の実施により増加させる数値 *バス交通は養老線との乗り継ぎ利用者数の割合20%（アンケート結果）から推計 *達成状況の評価・検証においては、指標として設定した以外のデータも整理し、状況の把握や改善施策の検討を実施していく	
全体目標指標2 養老線及び沿線バス交通の満足度	平成28年度 養 老 線：33.9% バス交通：32.1%	平成38年度 養 老 線：現状値を上回る バス交通：現状値を上回る
	*養老線利用者アンケートより、養老線の満足度（「満足」+「まあ満足」） *バス交通は、養老線との乗り継ぎ利用者の満足度（「満足」+「まあ満足」）	

指標	現況値	目標値
個別目標指標1-1 将来都市構造等で拠点に位置づけられる主要10駅の養老線日平均利用者数	平成28年度 20,762人	平成38年度 推計値17,100人を上回る
	*養老鉄道データより、全駅利用者のうち主要10駅の利用割合は61% *H38年度の養老線年間利用者推計値506万人から推計値17,100人を算出 *主要10駅は桑名駅、多度駅、石津駅、駒野駅、養老駅、美濃高田駅、大垣駅、広神戸駅、池野駅、揖斐駅	
個別目標指標1-2 養老線利用者の他の公共交通機関との乗り継ぎ利用率	平成28年度 68.8%	平成38年度 現状値を上回る
	*養老線利用者アンケートより、「乗車前」または「降車後」に他の公共交通機関を利用した方の割合	
個別目標指標2 通勤・通学時間帯における養老線日平均乗車人数	平成28年度 5,607人	平成38年度 推計値4,500人を上回る
	*養老鉄道データより、全時間帯利用者のうち通勤通学時間帯（始発～午前9時）の利用割合は16%	
個別目標指標3-1 養老線の定期外年間利用者数	平成28年度 133万人	平成38年度 推計値102万人を上回る
	*養老鉄道データより、全体目標値1と同様の推計方法で算出	
個別目標指標3-2 養老線の時刻表や乗り継ぎの情報案内に関する満足度	平成28年度 31.7%	平成38年度 現状値を上回る
	*養老線利用者アンケートより、「満足」+「まあ満足」の合計	
個別目標指標4 公共交通の維持・活性化に関する地域主体の取り組み回数	平成28年度 75回	平成38年度 90回
	*地域が主体的に実施または行政等と連携して実施する養老線及び沿線バス交通等の維持・活性化に関する取り組み回数を2割増加	

※今後の協議の進展や新しい基礎数値の状況等により、推計値や目標値等が変更となる場合があります。

5 目標を達成するために行う事業

取り組み	施策	事業数
(1) まちづくりや地域の魅力向上に関する取り組み	① 沿線市町の各種計画等の策定、改定 ② 駅を中心としたまちづくり	8
(2) 養老鉄道㈱及び養老線に関する取り組み	① 鉄道事業再構築実施計画の策定 ② 養老鉄道㈱への支援等 ③ (一社)養老線管理機構への支援等 ④ 運行サービスの改善 ⑤ 鉄道相互等のダイヤ調整 ⑥ 関係者の連携強化	11
(3) バス・タクシー交通に関する取り組み	① バス路線再編等 ② バスの利用促進 ③ タクシーの利用促進 ④ 運行サービスの改善 ⑤ 養老線等とのダイヤ調整	12
(4) 交通結節点の機能充実に関する取り組み	① 交通結節点整備 ② 駅施設の改善 ③ 駐車場整備 ④ 駐輪場整備 ⑤ 情報・案内の提供 ⑥ 駅舎の利活用	7
(5) 地域主体・地域との連携による取り組み	① 地域住民等との連携、協働	12
(6) 公共交通の利用促進に関する取り組み	① 観光施設等との連携 ② 定期外利用者の増加 ③ 通勤定期利用者の増加 ④ 通学定期利用者の増加 ⑤ モビリティマネジメント	35
(7) その他の取り組み	① 各種調査等	2
	合計	87

6 計画の達成状況の評価に関する事項

計画の評価は、全体目標と個別目標の目標値の達成状況について、PDCAサイクルに基づき、養老線地域公共交通再生協議会が主体となって実施します。